

# 研究テーマ:ベトナム国向けオールIPネットワークの円滑な移行に向けた国際技術調査(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2P-A20067)

研究機関: 日本電気(株)第二ネットワークソリューション(事)

## 研究の概要:

ベトナム国通信キャリアであるVNPT傘下の研究機関CDiT内にNGN実験システムを構築し、国内バックボーン(インターネット含む)接続の環境下で、VoIPによる音声通話、PSTNシミュレーションサービス及び「QoS技術」の動作確認を行う。

## 研究の目的:

ベトナム国にて国内バックボーン続環の境下において、IMS/NGNの基本機能及びサービスアプリの検証を行う。特に、PSTNシミュレーションサービス、QoS制御の動作確認、及び音声品質のQoS測定を行い、IMS/NGN機能の実効性を訴求する。

## 実験機器構成:

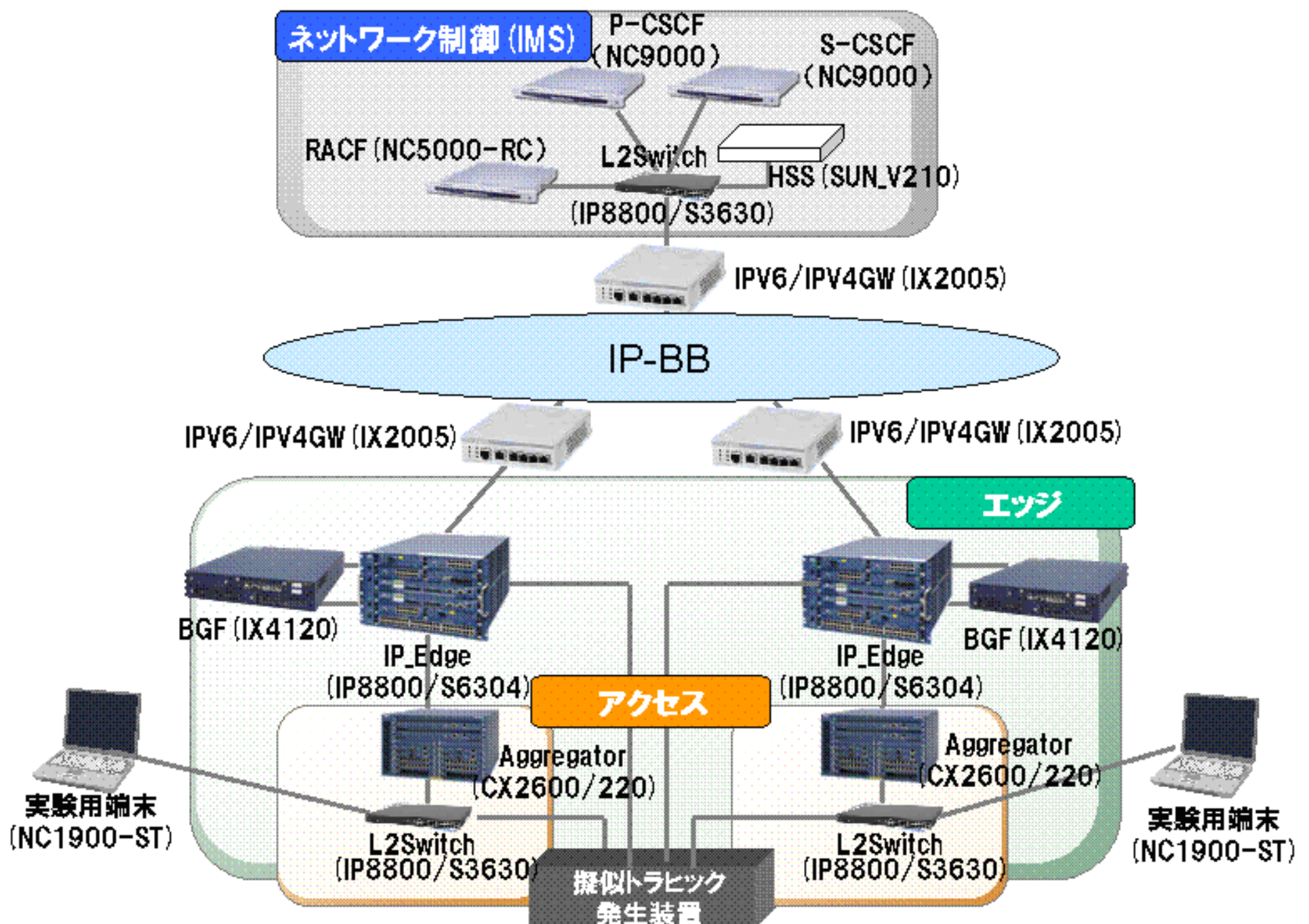


図1 実験機器構成図(物理網)

**研究テーマ:ベトナム国向けオールIPネットワークの円滑な  
移行に向けた国際技術調査(2/2)**  
(プロジェクト番号 JGN2P-A20067)

研究機関: 日本電気(株)第2ネットワークソリューション(事)

研究開発成果:

■セッション通信に係わる検証結果

想定したすべての接続パターンにおいて NGN 国際標準(ITU-T Rel.1)に基づいた、基本呼接続制御(セッション制御)が正常に動作していることが確認された。

■QoS 制御に係わる検証結果

品質管理機能である RACF(Resource and Admission Control Function:リソース受付制御機能)の機能を用いて、SBC(Session Border Control:セッション・ボーダ制御機能)と連携して、NGN 国際標準(ITU-T Rel.1)に基づいた QoS 制御の有効性を検証した。

■音声品質測定に係わる結果

NGN 内における、QoS 制御に基づいた音声品質は、固定電話クラスの品質を確保することができた。

プロジェクトのアピールポイント:

■国産NGNの高度な技術の訴求

国内NGNの市場にて実績のあるNGNサービス及び先端技術の有効性を訴求。

■官民の連携による国際実証実験

VNPT傘下の研究機関CDiTとの連携による相互接続試験。現地キャリアとの関係を構築して、人材交流の促進に貢献。

プロジェクトの自己評価:

■春節

ベトナム国内の2月は「春節」にあたり、現地通関の遅延や現地通信事業者施設が閉鎖され局建設が大幅に遅れた。しかしながら、現地関係者(日本国大使館等)のご支援により、春節中にも係わらず、局建設が実行され、2008年3月31日、無事、本プロジェクトを完了することができた。

■課題

今回は、ベトナム国内に閉じた形で実証実験を行った。将来のキャリア間の IMS 接続を考慮すると国際接続による実証実験は必須と思われる。次のステップとして、JGN2plusを使用した国際接続環境を構築し、国際間でのアプリケーションサービスの動作確認、さらに、将来はキャリア間の国際相互接続試験を実施することが今後の課題である。

以上